

第4次中期事業計画

I 計画策定の趣旨

我が国は、平成14年から73ヶ月続いた“いざなぎ景気”を超え、戦後最長となる景気回復期にあります。しかし、その一方で深刻な人手不足をもたらし、65歳雇用延長や高齢者の再雇用により新規入会会員の減少、会員の高齢化などシルバー人材センター事業をとりまく環境は依然として厳しい状況となっています。

このような状況の中、当センターでは地域の担い手として貢献するため、理事会及び理事会専門委員会が中心となり、会員の就業ニーズ、地域の要請に応えるため、組織体制を強化してきましたが、会員数は減少の一途であります。公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会においても「第2次会員100万人達成計画」を策定し、会員拡大を最重要課題に掲げています。

こうしたことから、直面する課題に柔軟に対応していくため、「自主・自立、共働・共助」という事業理念の原点に立ち返り、今後5年間において当センターが目指すべき目標を設定し、その目標を達成するための具体的な行動計画を掲げ、事業展開の指針とします。

II 基本理念

高年齢者が長年培った知識や経験、技能を活かし、「自主・自立、共働・共助」を基本に、地域において主体的に活動し、共働・共助の理念の下、活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、地域住民より信頼され、頼りにされ、地域社会の一員として欠くべからざる団体として、センター運営体制の整備、事業活動の一層の充実を目指すことを基本理念とします。

III 計画期間

令和元年度～令和5年度の5年間とする。

1 会員拡大のための取り組み

令和5年度末450名を目標に掲げ、役員、普及啓発委員会、広報委員会、会員、事務局が力を合わせ、事業の周知を図り、会員拡大の目標達成を目指します。

就業機会の提供だけでなく、地域の高齢者に交流の場を提供し、魅力あるセンターを作ります。そのために、普及啓発委員会と広報委員会が中心となり、会員の就業や親睦活動、技能研修などの様子をホームページをはじめとする独自媒体及び新聞等の報道機関を通じてPRすることにより、イメージアップを図り、会員拡大につなげます。活力あるセンターづくりには女性会員の協力が不可欠であることから、女性にとって魅力あるセンターづくりに取り組み、女性会員の拡大を目指します。

(1) 女性会員の紹介、口コミによる入会促進

- ①女性会員の紹介、口コミによる入会を促進します。
- ②女性にとって魅力ある講座を開催し、女性会員が集まるセンターづくりを展開します。
- ③女性会員の組織運営への参加を積極的に促進します。

(2) 会員情報の把握と管理

- ①有資格者や特殊技能保持者の詳細を把握し、社会のニーズに応えます。
- ②職歴や職業希望分野を情報共有し、就業機会の提供を広めます。

(3) スキルアップの支援

- ①就業に必要な講座等を企画・開催し、就業意欲を高めます。
- ②技能の向上を目指し、知識・技能の習得と後継者育成の強化を図り、質の良い仕事を提供します。

【会員目標値】

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
会員数(人)	367	381	403	426	450
内男性(人)	239	244	254	268	279
比率	65%	64%	63%	63%	62%
内女性(人)	128	137	149	158	171
比率	35%	36%	37%	37%	38%
会員増加率	3.6%	3.9%	5.8%	5.8%	5.8%
粗入会率	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%

2 就業拡大のための取り組み

事業の発展には、就業機会の確保が不可欠です。地域社会へ事業内容を広くPRするとともに、顧客ニーズを把握し、適正就業ガイドラインに沿った就業機会の確保に努めることを念頭に置いて、多様化している就業形態に対応し、会員の就業ニーズに応じた就業機会の提供のため、理事、就業開拓委員会、事務局が一丸となって就業開拓を行います。また、会員に対する技能付与の機会を提供するとともに、接遇マナーの向上を図り、ミスマッチを防ぐとともに就業機会を拡大させていきます。

(1) 役職員による定期的な就業開拓

- ①役員、就業開拓委員、事務局が協力して定期的な事業所訪問を行い、継続受注と新規受注につなげます。
- ②お客様アンケート調査を行い、社会のニーズを把握します。

(2) 作業現場を発信源としたシルバーの普及啓発

- ①会員一人ひとりがセンターの運営を担っていることを再認識し、シルバー事業を広く市民に周知してもらうため、就業中によるシルバー帽子の着用や看板を利用したPR活動を行います。
- ②会員による受注業務の開拓を積極的に行います。

(3) シルバー事業のイメージアップ

- ①接遇マナーの向上に取り組み、親切丁寧な対応で顧客や市民からの信頼につなげます。
- ②シルバーだよりや市の広報などのメディアを利用し、事業の周知を図ります。
- ③ボランティアや市内のイベントに積極的に参加し、地域社会に貢献します。

(4) 各種団体との連携

- ①地域活動に積極的に参加し、地域との絆を強めます。
- ②行政、町会等にセンターが提供できるサービスの情報を提供します。

3 安全就業のための取り組み

「安全はすべてに優先する」という言葉が表すように、会員の安全就業の確保はシルバー事業にとって最優先課題です。しかし、全国的な事業展開に比例して毎年全国で就業中や就業途上の重篤事故が絶えません。事故を未然に防ぐためには、会員一人ひとりが安全就業を自分の問題として捉えるとともに、自己の健康維持に関心を持ち、努力することが大切です。安全・適正就業委員会が中心となり、安全就業を推進するため、会員への啓発活動をはじめとする活動に取り組みます。

(1) 安全就業の推進

- ①業種別チェックシートを活用した安全パトロールを行うことで、作業内容に適した巡回を実施します。
- ②安全防護具の着用を呼びかけ、安全意識の周知徹底に努めます。
- ③作業着手前の現場確認を徹底し、安全作業の手順を確認することで、事故を未然に防ぎます。

(2) 交通事故防止についての呼びかけ

- ①シルバードライビングドッグ等を利用し、運転技術の維持・向上に努めます。
- ②事故発生後は安全運転講習を受講し、事故再発防止につなげます。

(3) 安全・健康講習会の実施

- ①安全運転講習、応急手当講座等を開催し、安全に対する意識向上を図ります。

(4) 事故防止策の検討

- ①センターで発生した事故について、安全・適正就業委員会が中心となって事故原因や対策を分析し、再発を防止します。
- ②「安全だより」を年4回発行し、安全就業の理解を促す資料や全国の事故事例を共有することで事故を予防します。